

「消化器」コースユニット2・3 試験問題

2021年7月2日

1. Courvoisier 徴候を示すのはどれか
(a) 胆嚢癌
(b) 膵尾部癌
(c) 下部胆管癌
(d) 肝内胆管癌
(e) 肝門部胆管癌

2. 肝細胞で合成されるものはどれか。2つ選べ
(a) gastrin
(b) secretin
(c) albumin
(d) γ -globulin
(e) cholesterol

3. 胆汁うっ滞によって吸収が阻害される栄養素はどれか。2つ選べ
(a) 葉酸
(b) ニコチン酸
(c) ビタミンK
(d) ビタミンA
(e) ビタミンB12

4. シェーグレン症候群の診断に用いる検査はどれか。すべて選べ
(a) サクソンテスト
(b) 口唇腺生検
(c) パッチテスト
(d) 抗SS-A, 抗SS-B抗体検査
(e) Bence Jones タンパク検査

5. 咬合の不正を生じる骨折はどれか。すべて選べ
(a) 下顎骨体部骨折
(b) 下顎骨関節突起骨折
(c) 下顎骨筋突起骨折
(d) 頬骨弓骨折
(e) Le Fort I 型骨折

6. 顎骨の急性骨髄炎でみられないのはどれか。2つ選べ
(a) 白血球数の増加
(b) 核の右方移動
(c) グロブリン量の減少
(d) 桿状核球数の増加
(e) CRP 値の上昇

7. 歯性上顎洞炎について誤っているものはどれか。2つ選べ
(a) う歯や歯周炎が原因で生じる
(b) 上顎洞のX線透過性が亢進する
(c) 片側の^{*}上顎洞に発症することが多い
(d) 歯科用インプラントが原因で起こることがある
(e) 上顎前歯が原因歯となることが多い

8. 舌扁平上皮癌で転移が多いのはどれか。2つ選べ

- (a) 頰部リンパ節
- (b) 後頭リンパ節
- (c) 顎下リンパ節
- (d) 耳介後リンパ節
- (e) 上内深頸リンパ節

9. 前がん病変はどれか。2つ選べ

- (a) 色素性乾皮症
- (b) 梅毒性舌炎
- (c) 白板症
- (d) 紅板症
- (e) 口腔扁平苔癬

10. 関係のある組み合わせはどれか。3つ選べ

- (a) 乳頭腫 — パピローマウイルス
- (b) 口腔扁平苔癬 — 帯状疱疹ウイルス
- (c) Koplik 斑 — ヘルペスウイルス
- (d) Fordyce 顆粒 — 異所性皮脂腺
- (e) 黒毛舌 — 長期抗菌薬使用

11. 唾石症について正しいのはどれか。2つ選べ

- (a) エックス線不透過性のものが多い
- (b) 両側性に発症することが多い
- (c) シェーグレン症候群に合併しやすい
- (d) 舌下腺に好発する
- (e) 摂食時に疼痛が増強する

12. 咽頭領域における記載で正しいものを選べ

- (a) 伝染性単核球症の3主徴は発熱・扁桃炎・皮疹である
- (b) 扁桃病巣感染症の原因に胸肋鎖関節過形成症がある
- (c) 睡眠時無呼吸症候群の5割が中枢性である
- (d) 下咽頭癌はEBウイルスとの関連がある
- (e) 下咽頭癌梨状陥凹型は女性に多い

13. 唾液腺の解剖、疾患について正しいものを選べ

- (a) 唾液の分泌量が最も多いのは耳下腺である
- (b) 耳下腺からワルトン管がでている
- (c) 耳下腺腫瘍は良性が75%を占める
- (d) 耳下腺腫瘍の中ではワルチン腫瘍が最も多い
- (e) ガムテストの正常は20ml以上である

14. 次の文章のうち誤っているのはどれか

- (a) 腸重積は6ヶ月～3歳に多く、成人では悪性腫瘍などの原因病変を伴うことが多い
- (b) Closed loop が形成されている腸閉塞は手術などの適切な処置を行わないと致死的である
- (c) 中腸回転異常では180°回転型が最も頻度が高い
- (d) Hirschsprung 病は壁内神経節細胞の欠如が原因で、腹部膨満や腸閉塞をきたす
- (e) 急性虫垂炎の痛みは心窩部、上腹部の鈍痛から徐々に増強しながら右下腹部痛に移行する

15. Meckel 憩室について誤っているのはどれか
- (a) 腸間膜の対側に発生する
 - (b) 合併症として腸閉塞がある
 - (c) 異所性組織として胃粘膜を含む
 - (d) 胎生期の卵黄腸管の一部が残存したものである
 - (e) Treitz 靱帯より肛門側 90cm 程度の空腸に好発する
16. 次のうち内ヘルニアはどれか。2つ選べ
- (a) 大網裂孔ヘルニア
 - (b) 閉鎖孔ヘルニア
 - (c) 腹壁癒痕ヘルニア
 - (d) Winslow 孔(網嚢孔)ヘルニア
 - (e) 内鼠径ヘルニア
17. 消化管造影に関連して誤っているのはどれか
- (a) 硫酸バリウム製剤やイオン性ヨード製剤は陽性造影剤である
 - (b) 硫酸バリウムは水には難溶性であるが、脂溶性である
 - (c) イオン性ヨード製剤には下剤の作用がある
 - (d) 硫酸バリウム製剤は非イオン性造影剤に比して消化管粘膜の描出能が高い
 - (e) 消化管造影検査直後の腹部 CT は避けた方が良い
18. 大腸 CT について正しいのはどれか。2つ選べ
- (a) 前処置を必要としないことが利点である
 - (b) 拡張には安価な空気を用いることが多い
 - (c) 平坦型病変の検出能は内視鏡検査に劣る
 - (d) 腹臥位もしくは右側臥位の 1 体位で撮像が完了する
 - (e) 標識剤としてバリウム製剤が用いられる
19. 根治的放射線治療の適応となり得るのはどれか。2つ選べ
- (a) 縦隔リンパ節転移を伴う胸部食道がん
 - (b) 骨盤内リンパ節転移を伴う肛門がん
 - (c) 骨転移を伴う肝臓がん
 - (d) 肝転移を伴う直腸がん
 - (e) 鎖骨上窩リンパ節転移を伴う胃がん
20. 緩和的放射線治療の適応とならないのはどれか
- (a) 肛門がん脳転移による片麻痺
 - (b) 肝臓がん腰椎転移による下肢麻痺
 - (c) 胃がん原発巣からの出血
 - (d) 食道がん多発胸膜播種による呼吸困難
 - (e) 直腸がん仙骨転移による疼痛
21. 癌治療における臨床試験について正しいものを 2つ選べ
- (a) 新規抗癌剤の承認には第Ⅲ相試験が必要である
 - (b) 第Ⅱ相試験では治療の有効性を評価する
 - (c) 臨床試験の参加において、本人の同意が必要でない場合がある
 - (d) 第Ⅲ相試験の対象は 50 人程度である
 - (e) 第Ⅰ相試験では奏効率を評価する
22. 食道癌について正しいものを 3つ選べ
- (a) 食道癌には 20%ほど多臓器重複癌があり、重複癌は大腸癌が最も多い

- (b) 食道癌における CT 画像で、Picus 角が 90 度以上であれば大動脈浸潤が疑われる
- (c) T4 症例は、術前化学療法 (NAC) の適応である
- (d) 副作用が無い点からも、NBI 観察は食道癌のスクリーニング検査に勧められる
- (e) 粘膜筋板に達する食道癌に対し、内視鏡的摘除術は禁忌である

23. 胃癌について正しいものを 2 つ選べ

- (a) 早期ダンピングは、インスリンの過剰分泌に伴う低血糖により生じる
- (b) スキルス胃癌は予後不良であり、積極的に拡大手術を行うべきである
- (c) AFP 産生胃癌では、AFP 以外にプロトロンピンなども産生する
- (d) ピロリ菌感染により高ガストリン血症が起こる
- (e) 粘膜下腫瘍のうち上皮性病変として、カルチノイド、血管腫、リンパ管腫が挙げられる

24. 代謝、栄養について正しいものを 3 つ選べ

- (a) ビタミン D 欠乏は、リン (P) の再吸収を増加させる
- (b) 中心静脈カテーテルの挿入は、高度バリアプリコーション下に行う
- (c) グルタミンは小腸粘膜の主な栄養源である
- (d) アルギニンの創傷治癒促進作用は褥瘡治療に応用されている
- (e) 小腸の絨毛は腸管内の血流による栄養供給が大部分を占める

25. 大腸癌について正しいものを 2 つ選べ

- (a) クローン病は大腸癌の危険因子である
- (b) 結腸癌に対する腹腔鏡下手術の適応は、stage II ~ III である
- (c) わが国では大腸がん比べ胃癌の増加が目立っている
- (d) 便潜血検査陽性者の 2 次健診で癌が発見される頻度は 6 ~ 7 % である
- (e) 大腸癌の存在する大腸壁の外側の毛羽立ち所見は、漿膜浸潤を疑う所見である

26. 直腸癌について正しいものを 3 つ選べ

- (a) 直腸癌の局所再発では術前に放射線療法を行うことにより、切除率が向上する
- (b) 局所進行直腸癌に対する術前放射線療法終了後約 4 週間後に手術を行う
- (c) 肝転移に対して肝切除後、残肝に再々発をきたした場合は、切除しても予後不良である
- (d) 手術後の再発例は 80% が 3 年以内に診断される
- (e) Rs の直腸癌に対する肛門側直腸間膜の安全な切離長は 3cm である

27. 胃 GIST について正しいものを 3 つ選べ

- (a) GIST の発生部位は、GIST の予後因子として重要である
- (b) KIT 陰性であったが、CD34 陽性であったため GIST と診断した
- (c) 6cm の胃 GIST に対し、腹腔鏡下胃部分切除術を行った
- (d) 核分裂像は GIST の予後因子となりうる
- (e) 経過観察中の胃内 SMT が 1cm から 2.5cm に増大したため手術を施行した

28. 腸閉塞について正しいものを 2 つ選べ

- (a) 絞扼性イレウスでは、筋性防御はみられない
- (b) イレウスの発生頻度の最も高いものは、絞扼性イレウスである
- (c) 単純性イレウスでは、間歇的な腹痛を伴う
- (d) closed loop obstruction 型のイレウスは、緊急手術を要する
- (e) Multiple centric sign とは、S 状結腸捻転でみられる特徴的な CT 所見である

29. 腸管感染症について正しいものを 2 つ選べ

- (a) 免疫抑制状態では、サイトメガロ腸炎が発症する可能性がある
- (b) 偽膜性腸炎の薬物治療の第一選択はバンコマイシン経口投与である
- (c) アメーバ赤痢の確定診断には便培養検査が必須である

- (d) 回盲部の腸結核は稀である
- (e) 腸管スピロヘータ症は重症化した後に発見される場合が多い

30. A型胃炎について正しいものを2つ選べ

- (a) 大球性貧血を合併することがある
- (b) カルチノイドが多発することがある
- (c) *H. pylori* 感染がある場合は発症しない
- (d) 主細胞が主に障害されて起こる
- (e) 病変は前庭部(antrum)中心の分布となる

31. 大腸疾患の分類法、病因、及び組織像について正しいものを2つ選べ

- (a) Duke's分類は大腸癌の肉眼形態の分類である
- (b) 家族性大腸腺腫症は *K-ras* 遺伝子の germline mutation が原因とされる
- (c) クロウン病は乾酪壊死を伴う類上皮肉芽腫が特徴的である
- (d) 潰瘍性大腸炎の活動期には陰窩膿瘍が見られることが多い
- (e) Goligher分類は痔核の病期分類である

32. 胃、及び十二指腸疾患の病因、組織像について正しいものを2つ選べ

- (a) MALTリンパ腫は *H. pylori* 感染と関係がある
- (b) Gastrointestinal stromal tumor(GIST)の約90%は免疫染色で c-KIT 陽性である
- (c) セリアック病は *Tropheryma whipplei* の感染が原因とされる
- (d) 胃生検材で adenoma は Group 4 に分類される
- (e) Borrmann分類は癌の壁深達度、リンパ節転移で判定する

33. 胃癌に関連して正しいものはどれか。3つ選べ

- (a) 早期胃癌とは、癌腫が粘膜下層までにとどまるものであり、リンパ節転移の有無は問わない
- (b) 大きさ 50 mm の IIc 肉眼的粘膜内癌 分化型癌 ULO と判断される病変は ESD の適応外病変である
- (c) Stage IV 手術不能進行再発胃癌に対する化学療法の治療成績は5年生存率 50%程度である
- (d) 早期胃癌に対して標準的な加療が行われれば5年生存率は90%以上である
- (e) 内視鏡的に腫瘍が一括切除され、切除標本が 2 cm の未分化型癌で pT1b(SM1)であり、かつ HMO, VMO, Ly 1, V0 であった場合は、内視鏡的根治度 C-2 (eCuraC-2) とし、追加外科手術が標準となる

34. 胃疾患に関する次の記述のうち正しいものはどれか。3つ選べ

- (a) 胃に発生する悪性リンパ腫の中で、頻度が高い組織型は FL (follicular lymphoma) と DLBCL (Diffuse large B-cell lymphoma) である
- (b) 現在 20 歳代の *H. pylori* 感染率は 10%程度である
- (c) 胃 MALT (Mucosa-associated lymphoid tissue) の治療の第一選択は *H. pylori* 除菌療法である
- (d) *H. pylori* は主に幼児期に感染する
- (e) 胃癌の中で *H. pylori* 未感染の胃癌の割合は 20%程度である

35. 食道疾患に関する次の記述のうち正しいものを2つ選べ

- (a) 食道異物は第2狭窄部に最も多くみられる
- (b) 胸部中部食道 (Mt) は漿膜に覆われている
- (c) 食道アカラシアの分類として Los Angeles 分類がある
- (d) 早期食道癌は、原発巣の壁深達度が粘膜内にとどまり、リンパ節転移の有無は問わない
- (e) RC サイン陽性を伴う食道静脈瘤は治療適応である

36. 肝硬変で定期的に行うのはどれか。3つ選べ

- (a) 上部消化管内視鏡検査
- (b) 下部消化管内視鏡検査
- (c) PET-CT 検査
- (d) 腹部造影 MRI 検査
- (e) 腹部超音波検査

37. 次の選択肢の中から正しいものを2つ選べ

- (a) 潰瘍性大腸炎では感染性腸炎との鑑別が必要である
- (b) 潰瘍性大腸炎では盲腸から肛門側にむかって連続するびまん性炎症が典型的である
- (c) colitic cancer は、炎症の範囲が広く、慢性持続している罹患年数の長い Crohn 病でリスクが高い
- (d) 栄養療法は Crohn 病よりも潰瘍性大腸炎で重要視される
- (e) IBD の診療は個々の病状や社会的背景などに合わせたオーダーメイド医療となってきた

38. 39 歳女性。半年以上続く下痢と浮腫、体重減少にて受診した。身体診察にて皮膚の色素沈着と爪の萎縮、脱毛、下腿浮腫を認めた。下部消化管内視鏡検査にて下記所見を全大腸に認め、蛋白漏出シンチグラフィにて大腸からの蛋白漏出が確認された。この疾患について正しいものを2つ選べ



- (a) 常染色体優性遺伝の疾患である
- (b) 大腸全摘術を考慮する
- (c) ポリープは腺腫性である
- (d) 副腎皮質ステロイドの投与を行う
- (e) 味覚異常を伴うことがある

39. 次のうちで誤っているものはどれか

- (a) 10mm 以上の胃底腺ポリープは癌化を考慮して内視鏡的切除を行う
- (b) 胃アニサキス症に対しては虫体の内視鏡的摘出が有効である
- (c) 胃十二指腸潰瘍の原因の1つに、NSAIDs（非ステロイド性抗炎症薬）の服用がある
- (d) 機能性ディスぺプシアでは各種検査にて明らかな器質的異常を認めない
- (e) 胃びらんとは、組織欠損が粘膜層のみの状態のことをさす

40. *H. pylori* について正しいものはどれか

- (a) *H. pylori* 除菌治療後に再感染をきたすことはない
- (b) Strickland-Mackay 分類の A 型胃炎は、*H. pylori* 感染と関連が深い
- ✓(c) 胃 MALT リンパ腫は *H. pylori* 除菌療法の保険適応である
- (d) 幼児期に自然感染した *H. pylori* は、ほとんど自然排除されることはない
- (e) *H. pylori* 陽性の慢性胃炎（萎縮性胃炎）患者は胃癌発生の高危険群である

雑感

今年は割と新しい問題が散見された。しかし、過去問と同じ問題も多いので依然過去問はやっといたほうが良いだろう。
追試者：(後半と合わせて) 7人